

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公開番号】特開2009-122356(P2009-122356A)

【公開日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2009-022

【出願番号】特願2007-295641(P2007-295641)

【国際特許分類】

G 02 B 21/14 (2006.01)

G 02 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 02 B 21/14

G 02 B 21/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

観察標本を載置するステージと、

照明光を前記ステージ上に載置された前記観察標本に導く照明光学系と、

対物レンズを含み前記観察標本を透過した光を集光する観察光学系と、

前記対物レンズの前記観察光学系にある瞳位置に設けられた位相板と、

前記対物レンズと共に位置に設けられ、リング状の光が射出される光学素子と

を備えた位相差顕微鏡において、

前記光学素子または前記位相板の何れか一方を移動させる移動手段と、

所定の観察位置における前記光学素子からの光が前記位相板に入射した状態における前記光学素子または前記位相板の位置と各前記観察位置との対応関係を予め記録する記録手段と、

前記記録手段に記録された前記対応関係に基づいて前記移動手段の観察位置への移動を制御する制御部と

を有することを特徴とする位相差顕微鏡。

【請求項2】

前記記録手段が記録する情報は、前記観察標本を収容する複数の容器の中の1つの容器に対するリング位置情報であり、

前記制御部は、他の容器に収容された前記観察標本を観察する際、前記記録手段に記録した前記1つの容器に対する記録を利用し、前記移動手段を駆動させる

請求項1に記載の位相差顕微鏡。

【請求項3】

前記リング位置情報は、前記光学素子または前記位相板の何れか一方を移動させ、撮像装置によって撮像された標本画像のコントラストが最大になったときの位置である

ことを特徴とする請求項2に記載の位相差顕微鏡。

【請求項4】

前記光学素子は、スリットが形成された位相リングである

ことを特徴とする請求項1乃至請求項3の何れか一項に記載の位相差顕微鏡。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0010**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0010】**

本発明の位相差顕微鏡は、観察標本を載置するステージと、照明光を前記ステージ上に載置された前記観察標本に導く照明光学系と、対物レンズを含み前記観察標本を透過した光を集光する観察光学系と、前記対物レンズの前記観察光学系にある瞳位置に設けられた位相板と、前記対物レンズと共に位置に設けられ、リング状の光が射出される光学素子とを備えた位相差顕微鏡であって、前記光学素子または前記位相板の何れか一方を移動させる移動手段と、所定の観察位置における前記光学素子からの光が前記位相板に入射した状態における前記光学素子または前記位相板の位置と各前記観察位置との対応関係を予め記録する記録手段と、前記記録手段に記録された前記対応関係に基づいて前記移動手段の観察位置への移動を制御する制御部とを有する。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0012**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正4】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0013**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正5】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0014**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正6】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0015**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正7】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0016**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正8】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0017**【補正方法】**削除**【補正の内容】**